

～'18 長州藩～

9月25日の16時から農学部附属農場の実習棟にて日本酒の飲み比べイベントを開催しました。イベントの内容として構成員による酒米の栽培方法、日本酒の醸造工程と世界のお酒について、ラベルから見る日本酒について調べたことを発表しました。参加者の感想には、今まで日本酒の製造方法や他のお酒について学ぶ機会がなかったが、今回の勉強会で学ぶことができたという感想をもらいました。構成員も日本酒の原料となる酒米の高品質の栽培方法や高度な醸造法などについて専門的なことについても知識を共有することができました。飲み比べでは辛さの度数の+や-についての香りや味の違いについて着目し、銘柄をあてることをしました。また、自分が甘口か辛口のお酒が好きかについても考えてもらい、自分の好みのお酒についても考えてもらいました。自分たちも、甘口であるか辛口であるかの判断が難しいことが分かり、機会があればより多くの日本酒を試飲してみたいと感じました。ホームカミングデーでも今回の発表を生かすようにしたいです。



日本酒の飲み比べイベント

もりプロ～山大生に学内外のイベント情報を～

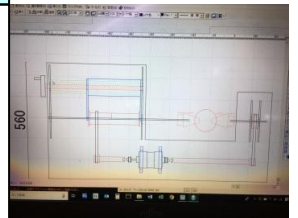


イベント開場にて
背中にポスターを
貼って広報

今月は七夕祭があり、その時もりフォメ (MORI-info) LINE@独占のクーポンを配信しました。もりフォメ (MORI-info) しかないお得なクーポンということで多くのお客さんが利用してくださいました。しかし、今回は七夕祭自体が別日での開催ということもあり例年に比べてお客さんの数が少なかったです。そのため、当日の新規の登録者は20人前後と予想を下回るの数字になりました。もりフォメ (MORI-info) を山大生に幅広く知ってもらいたい機会となる予定でしたが残念でした。今後は事前にもっと戦略を立てていきたいです。それから、今月はもりフォメ (MORI-info) の広報活動を多く行いました。学内イベントでの広報から地域イベントでの広報まで幅広くいこないました。そのかいもあってか今月は80人新たに登録していただきました。今後も地道ながらLINE@の登録者を増やしていけるよう外回りを続けていく予定です。

山大メモリアルニキシー管時計を作ろう

今月のメインイベントはニキシー管の実験!...となるはずだったのですが、実験を手伝ってくださる先生が急用で参加できなくなり、延期となってしまい、実施できませんでした。代わりに全体会議を開いて、現在の進行状況や今後の計画を確認しました。現在までにニキシー管内部の真空度を測定するクリスタルゲージが完成、ニキシー管の「殻」になるガラス管を切ったり曲げたりするために必要な「ガラス旋盤」が設計が完了し、これから制作に取り掛かる予定です。そしてガラスは急激に冷やすと割れてしまうので、加工して高温になったガラスを徐々に冷やしながら保管する「徐冷炉」をどこか(きららガラス未来館を予定)からお借りできないか相談しなければならない、といった事を話しました。また実験ができないと進めにくい事が多いという事実もあり、実験を早めに行う方針で進める事を確認しました。今月は中間報告書、ホームカミングデーがあるので気を引き締めて頑張っていきたいと思います。



ガラス旋盤の設計
図

体験で学ぶ防災・減災

9月には現在も火山活動が活発な熊本と長崎に1泊2日で赴いた。これは、火山災害に焦点を置いて防災・減災について学習するための研修合宿であった。熊本では、阿蘇火山博物館と中岳の火口の見学を行った。博物館では、火山活動開始時から現在に至るまでの過程や噴火の様子を動くジオラマや映像で見ることができた。火口の近くでは、安全レベルの表示や噴火の際には噴石などから身を守るための退避壕を設けるといった防災対策がされていた。長崎では、がまだすドームと大火砕流体験館・土石流家屋保存公園を訪れ、火砕流・土石流について学習した。火山噴火という噴煙が上がり噴石が降ってくるイメージが強かったが、雲仙普賢岳の噴火は火砕流・土石流による被害が大きい。噴火直後だけでなくその後も天候など些細な変化に警戒する必要があるのだと感じた。この2日間で、初めて知ったこともあり、火山災害の認識が変わる部分も多々あった。この学習を個人だけの学びにとどめず、プロジェクトメンバー内、さらに機会があれば外部にも広めていきたいと考える。



これらのプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています